

所弓便

第9号

所沢市弓道連盟会員 253名

∞ 各部報告 ∞

【総務部】**所弓連会員数**

4月30日現在の暫定登録会員数は253名
(スポ少除く、仔細は後掲総会記事)です。

3月以降の入会者は3名です。

昇段・昇格

(2月13日以降 4月末まで)

昇段おめでとうございます

五段 杉山久美子

長寿賞表彰

4月22日、日高市文化体育館において県連の評議員会に引き続き、長寿賞表彰式が執り行われ、橋田榮次先生が白寿、矢野文雄さん、春田孝正さんが米寿の表彰を受けられました。表彰対象者は、白寿1名、米寿13名、傘寿14名、計28名でした。

表彰後、橋田先生が受賞者を代表して、「弓を引いているので長生きできた。弓道は丹田呼吸により内臓から身体を鍛えることが出来る。ただ生命だけ永らえても仕方がない。私は今でも毎日武道館に通っている。元気で楽しく長生きするよう、皆さんも頑張ってください。」とご挨拶され、会場よりひと際大きな拍手が沸き起こりました。



表彰を受けられる橋田先生

総会関係

4月12日 総会プログラム完成・印刷

4月16日 総会プログラム丁合・封筒詰め

4月21日 総会

平成24年度所弓連総会

桜も終わり、4月も下旬にさしかかろうと云うのに総会会場である熊野神社社務所は、暖房を入れるほどの肌寒さであった。

来賓に、今年度より顧問に就任した藤本正人市長を始め、中村 太市議会議長、秋田 孝市議会議員、並木正芳所弓連顧問、熊野神社三上嘉徳宮司、それに熊野神社氏子会会長中野健治氏の6名をお迎えし、所弓連会員53名、委任状99通の参加で総会が開催された。

始めに新家会長から「昨年は大震災があった中、所弓連は、昭和33年の発足から今年で54年になるが会員のご協力によって大過なく毎日弓が引けることは大変に幸せなことと考えています。(以下略)」との挨拶の後、草賀相談役を議長に選出し議事に入った。

主な議案としては

1. スポーツ少年団について

スポーツ少年団員は、今まで連盟会員としても登録していたが、今年度から連盟に加入せず、ス

ポーツ少年団として保護者母集団のもとに運営される。

所弓連は、従来行ってきた支援を引き続き実施するため、対スポ少事務局を新たに設置し指導員も任命する。

なお、スポーツ少年団員が所弓連から脱けたことにより一時的に連盟会員数が減少するが所沢市の人口の0.1パーセントにあたる340名は目指していくとの会長の説明があった。

2. 橋田榮次先生白寿祝賀射会について

橋田榮次先生が県連から長寿賞表彰を受けられたこと(前掲)を踏まえ、所弓連では6月16日武道館において祝賀射会を行う。

3. ホームページの開設について

所弓連のホームページを6月末開設で準備を進めている。

4. 市弓道場床張替え工事について

今年度に工期は2週間程、工費120万円程度(半額市負担)で実施する。

議案は第1号から7号まで提案され、全ての議案が満場一致で可決決定された。

しばし休憩の後、昨年は東日本大震災の為自粛した懇親会が、今年は来賓の方々と共に賑やかに執り行われた。

所 弓 便

3月 8日 所弓便9号編集開始

5月15日 丁合・封筒詰

5月15日 所弓便9号発行

市弓道場メンテナンス

2月26日 看的場右側の表示版前板修理

3月13日 湯沸かし器取替え

4月 6日 防災ラジオを玄関に設置

4月17日 水屋水道蛇口パッキン取替外

【指導部】

定期講習会

3月末までの講習会受講者数

橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)

受講者延 126名

土曜講習会(草賀先生)(毎月第2土曜日)

受講者延 158名

水曜講習会(見原先生)(毎月第4水曜日)

受講者延 167名

所弓連指導者講習会

3月3日 講 師: 橋田榮次先生

受講者: 15名

内 容: 丹田の充実、呼吸、開く射、体配、弓の矯正方法ほか

【競技部】

《所弓連射会》

(2月 5日) 第17回武道祭(武道館)

スポ少 (一手立射)

相川由歩 吉田万理映 花崎怜奈

横山海友 栗原大智 伊藤 颯

道 着 (一手坐射)

中村徳海 土井恵美子 廣瀬雅孝 奥富季乃

藤田 良

和 服 (蹲い 肌脱ぎ襷がけ)

甲斐久歳 松寄恭子 鈴木光昭 平山夏子

篠原一郎

(3月11日) 月例射会(市弓道場)

(参加者 遠的16名 近的60名)

《遠的》

1位 藤田 良 2位 石川淳子 3位 松寄恭子

4位 澤田靖子 5位 中村康代

《近的》

2段以下

1位 横山海友 2位 吉田真里映 3位 名雪正義

3・4段

1位 藤田 良 2位 澤田靖子 3位 廣瀬雅孝
5段以上

1位 粕谷吉一 2位 松寄恭子 3位 永田欽一

《対外射会》

(3月)

(4日) 西部支部評議員会及び射会

(武道館 参加者89名 内所弓連19名)

優勝 大塚 進(朝霞) 2位 永島英男

5位 平山夏子

(11日) 神奈川県・埼玉県弓道指導者親善射会

(所弓連参加者 2名)

本橋民夫 埼玉県上位5名に入賞(順位付なし)

(18日) 全国勤労者弓道大会・埼玉県予選会

(県武道館 参加者 2チーム6名)

(4月29日) 秩父神社奉納第54回埼玉県下
武道(弓道)大会(参加46名)

(中学生の部)

団体3位

所沢スポ少D 金井雄太 甲斐健太 末廣侑也

団体4位

所沢スポ少A 伊藤 颯 横山海友 西原郁哉

団体5位

所沢市美原中 小塚一平 阿部晃司 林 雅茂
個人4位 横山海友

(一般の部)

団体優勝

所弓連F 石川淳子 増田裕子 松寄恭子

団体2位

所弓連P 下田 徹 澤田靖子 中村徳海

個人優勝 松寄恭子

個人2位 中村徳海

個人4位 小林康則

個人5位 粕谷吉一

∞ 投 稿 ∞

ようやく昇段

杉山久美子

何度も挑戦し続けた五段連合審査に、2月26日明治神宮にてようやく合格することが出来ました。

当日の参加者は2月だというのに456名もあり、中央道場で二射場・至誠館で一射場の計三射場での審査となり、私は第三射場の至誠館での受審。凍てつく寒さの中、順番がくるのを待ち、射場へと進みました。

今回は四立ち目。

甲矢では、私の前の方々の矢が次々に的中する音をききながら、不思議と緊張や焦りよりも「ちゃんとひかなくては」という思いが強くなり、腰をきって立ち上がるころから残心まで、日々の練習等で気をつけていたこと(よく注意されていたこと)を思い出しながら「こうあるべきだ」という理想の型を思い描きつつ射を行ったような気がします。

乙矢は、甲矢が中っていただけにより慎重になりすぎて離れて迷いも生じましたが、どうにか張りを失わずに行えたのか、今回合格という結果をいただきました。

本来目指すのは「無心の射」と言われますが、まだまだその境地にはたてません。

ただ、上を目指すには、日々の練習でも体配などのひとつひとつの所作を大事に行い、審査時など緊張してしまうような場面にこそ、その練習の成果を出せばよい結果に結びつくのではないかと思います。

今回合格できたのも、その教えがあったからだと思います。

私は東村山より転居して以来そちらで支部や地区登録を継続しているのにも関わらず、所弓連にも入会させていただき、練習は主に所沢でさせていただいております。

こんな中途半端な会員の私にも、練習の度に指

導していただき大変ありがたく思っております。

ご指導いただきました先生方ならびに諸先輩方にお礼申し上げます。ありがとうございました。そして・・・これからもよろしく願います。

「礼記射義」における「礼」

金子暁彦

このたび、参段に合格させていただきました。2月12日の県立武道館は寒風が吹き荒ぶ中でしたが、普段の練習どおりをイメージして気持ちを落ち着かせ、甲矢が的中した時の手応えは、忘れることの無いであろう格別のものがありました。

振り返りますと、初段、弐段までは正直なところ、「自分の努力で受かった」という気持ちが強かったように思います。しかし今回は、本当に心から皆様のご指導のおかげと感じております。弐段になって以降、「とにかく的中せねば」との気が逸るばかりに、色々な種類の弦を買ってみたり、握り革の太さを工夫したり、矢を変えたり、終いには弓のせいにしてみたりと、もがいている自分がありました。また、「弓返りさえすればよい」との思い込みで陥っていた時期もありました。

それが最近になって、呼吸の取り方や、「会」や「離れ」での体の左右のバランスなど、基本が出来ていないことに対する先生方からのご指摘の意味が、漸く少しずつわかり始め、自分なりに改善に取り組んできました。すると不思議なことに、これまでいくら読んでも頭に入ることの無かった弓道教本の文章が、噛み締めるように理解出来始めていることに気付いたのです。

平成20年に初心者弓道教室の門を叩いて以来、これまで自分が向上心を持って弓道に打ち込んでこれたのも、「弓道が好きで楽しいから」というのもありますが、普段から道場で先生方や先輩そして弓友に、困った時や悩んだ時に相談に乗っていただいたことによるところが大きいと、今更ながら感じております。

私は今、孔子の教えである「礼記」の読解に興味を持ち始めております。「礼記」は全49章から成り、「射義篇」はその46番目に書かれており、さらに弓道における「礼記射義」は、その中の一節だそうです。「礼記射義」の冒頭に「射は進退周還必ず礼に中り」とありますが、私はこの「礼」の意味するところの主たるものとして、「弓道を行う者は、必ず自分の周囲の方々への感謝の気持ちを表すこと」とであると理解しました。この気持ちを忘れずに、より一層の精進をしてみたいです。

皆様、ありがとうございました。そして、これからもよろしく願い申し上げます。

参段に合格して

小山 等

おかげさまで、先生を始め先輩の皆様のご指導により、参段審査に合格することが出来ました。有難うございました。前は体調不調で二度も失敗したので、今回は特に体調に気を付けて審査に臨みましたが、審査日の前日に本を寝室で暗記しようとしている間に寝る時間も過ぎてしまい、寝不足で県立武道館に行き、午前中は学科で午後は術科を確認して控室で待ちましたが、急に眠くなり大あくびの連続と居眠りで、過ごしている間に、時間になってしまい、眠い目を擦りながら、学科を受けました。

午後からは術科を受け、弓射では甲矢が私としては大三から自然に弓が引けて、誰か違う人が弓を引いているような感じで、自然に離れ矢が的に威勢よく飛びの中するのが見えたが、乙矢では的に遠くに見え、的に当てようとした結果が九時と十時の間に外れてしまいました。

結果発表は午後四時からなので、所沢弓道連盟の仲間の応援に行きました。

結果発表の時間になり私の受験番号を捜し合格を確認してから、所弓連の仲間の結果を確認しました。今回は六人が合格しましたが、残念の人も練習で的中が良いので次回は良い結果が出ると思

います。

今後ご指導のほどよろしく申し上げます。ありがとうございました。

心強い弓友

関口 二郎

今回の審査ではとても心強いと思うことがありました。審査当日、一人車で会場に向かうのは、心配でいろいろと不安な考えがめぐるものです。とても心細い道中でした。

そんな時、私の車の後に弓友の乗った車が見えたのです。バックミラー越しに見えた弓友の姿に、ふっと不安を忘れ手を振りました。初段の審査のときにはなかった、ほっとした瞬間でした。

そのまま会場の駐車場に着き、話をしながら審査を待ちました。アドバイスを貰ったり逆に励ましたりしてから射場に向かったことで、動揺することなく審査を受けることが出来たと思っております。

たくさんの先生、弓友の指導やアドバイスなどを頂き感謝しております。これからも精進して参段になることを目指して行きたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

左進右退

関口研二

平成23年11月初めの式段審査、場所は秋も深まる熊谷公園。その日の朝は、朝靄^{あさむぎ}が立ちこめが見えないほど、時間が経つにつれ靄も晴れ、さあ審査、四人立ちの三立ち目、入場いい感じ、矢を番え甲矢！はずしたけどまあまあ、乙矢！大三から会へいい感じ、離れ！何と中った！しかも弓返りもしている。こんな射は初めて、すごいぞ！と思った瞬間左足が先に出てしまい、まずいでしょうどうしようと思っている間に、射場を斜めに退場口へ。。。。

勿論合否は不合格、何をやってんだ俺は。暮れ

行く秋の熊谷公園でひとり寂しく缶コーヒーを飲みました。夕日と伊藤君が優しく励ましてくれました、伊藤君ありがとう。

そして年が明けて2月、2度目の挑戦は上尾県立武道館、ずっと指導いただいている下田先生の言う通りにやればいい、前日の土曜講習で草賀先生に「大丈夫だろう、変な事しなければ」と言って頂きましたが、変なことをした過去があるのでちょっと不安が、でも頑張りました、合格頂きました、うれしかったです、本当にうれしかったです。

ご指導いただいた全ての先生方に感謝致します。最後に錬士になられた小山さんが言っておられました「錬士になってやっと弓道の入り口に立てた」と。

私も少しでも近づけるよう精進努力してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

本当にありがとうございました。

初心者です

松浦篤子

昨年4月、退職難民になりました。さあ困った～暇です。そんな時、市報で「初心者弓道教室」を知りました。今まで運動らしい事は何もやったことがなく、まして武道など。。。。

おそろおそろ、秋の教室に参加させていただきました。蝉や蚊や汗と戦いながら「こんな世界があったのか」とびっくり。案の定、教室では一人落ちこぼれていました。それでも何故かめげず、これまで筋肉を使わず温存してきたのはこの為だったのかとばかり続けました。教室が終了してからは、神社道場に通い始めました。

高段位の方々ばかりの中に、初心者は私一人。礼儀もわからず最初はおどおど。緊張のせいか家に帰るとグッタリ。でも翌朝になると、ちょっと気が重いながら何故か毎日のように出かけていきました。初心者が一人というのも心細いながら良いことも沢山あります。射法・礼法については勿

論のこと、袴のつけ方から袴をはいたままトイレに行く方法まで教えていただきました。今は何とか雰囲気にも慣れ、まるで仕事に行くように通い続けています。

弓道を始めてまだやっと半年。一つのことを何とかクリアしたかと思うと、次はまた別の課題が……。それを何とかしていると前のことが疎かになる。そんな毎日の繰り返しです。だからまた稽古に通いたくなるのでしょうか。回りの方々に恵まれ楽しく過ごさせていただいています。何かにハマるのは、これが初めての経験で何時まで続くか分かりませんが、これからもどうぞよろしく願いいたします。

∞ お知らせ ∞

会費納入に関するご注意

所弓連の新年度の会費の納入期限は4月末日となっておりますが、県連よりも会費は年度はじめに納入することが原則で、遅くとも6月末までには年会費の納入が完了するよう協力要請が来おります。

納付が遅れますと退会扱いとなり、その後納付されても「再入会」として改めて県連の「入会金」が必要となりますのでご注意ください。

定期講習会

いずれの講習会も段位は問いません。

橋田教室(橋田榮次先生)

武道館 毎月第1木曜日、第3土曜日
土曜講習会(草賀 淳先生)

市弓道場 毎月第2土曜日
水曜講習会(見原重信先生)

市弓道場 毎月第4水曜日

初心者弓道教室

前年度まで後期教室は、市弓道場で夕方以降開催していましたが、今年度より市民の皆様が参加し易くなるように武道館で日中の午後開催するこ

といたしました。

弓道にすこしでも興味のある方々には、是非お知らせし参加されるようお誘い下さいください。

前期教室(武道館)

6月2日(土)～6月30日(土)

毎土曜日 13:00～16:00

後期教室(武道館)

2月16日(土)～3月16日(土)

毎土曜日 13:00～16:00

∞ 今後の行事予定 ∞

- 6月 2日 初心者教室(前期)(武道館)
- 3日 月例射会(市弓道場)
- 16日 橋田先生白寿祝賀射会(武)
- 7月 8日 月例射会(武)
- 8月 4日 初心者教室修了生模擬射会(武)
- 19日 月例射会(武)
- 19日 24年度第2回理事会(武)
- 9月17日 第39回市民弓道大会(武)
- 10月 6日 所弓連四段以下講習会(武)
- 7日 月例射会(市)
- 14日 スポ少弓道交流大会(武)
- 11月11日 第52回青少年三道大会(武)
- 23日 第45回武州弓道大会(武)
- 30日 所弓便第10号発行

∞ 会長月誌 ∞

2月 2日

- ・スポーツ振興課関口課長と面談(外 理事長・総務部長・海老名会計)

市弓道場床張り替え工事の業者、費用負担の件市が指定業者に見積もり依頼、市の負担額60万円(予定)

2月 7日

- ・第22回所沢シティマラソン大会実行委員会第3回総務部会 大会の反省点について

2月14日

- ・第22回所沢シティマラソン大会実行委員会

第3回実行委員会

・長寿表彰式（前掲）

2月18日

・平成23年度第4回県連理事会

決算報告・監査報告、24年度予算案
名誉会長・顧問・参与の推薦基準改正

2月19日

・平成23年度西部支部理事会

事業状況報告、決算状況報告、事業計画案及び
予算案検討

2月24日

・スポーツ振興課関口課長と面談

所沢市民武道館駐車場に関する件
市道場床張り替え工事の件（スポーツ振興課
とうま氏同席）

2月24日

・所沢市弓道連盟顧問並木正芳氏新春の集い

2月28日

・県連IT委員会年度末会議

3月 3日

・平成23年度所沢市スポーツ大賞・体育協会賞
表彰式

3月16日

・市道場床張り替え見積下見立会

スポーツ振興課長外1名、施工業者社長

3月18日

・斎藤博氏旭日中綬章受章祝賀会出席

3月22日

・体育協会・広報委員会

体協だより第89号校正

4月10日

・スポーツ振興課新旧課長 表敬訪問
(理事長、海老名会計同行)

4月12日

・熊野神社春期例大祭 飯島理事長参加

4月18日

・体育協会役員会出席

4月22日

・県連評議員会出席

∞ 編集後記 ∞

昨年多くの弓と矢が海底に流された3月11日を迎えて、大震災で何等かの被害を受けられた方々以外の多くの人達を感じたのは“光陰矢の如し”と云う言葉であったろうと思います。

この諺を用いるときの心情は、どちらかと言えば出来なかったことや無為に過ごしたことへの自戒の念が込められてもいます。

確かに震災直後の興奮した状況も月日を重ねるにつれだんだんと静まり、最近ではテレビで震災関連の番組が放映されても見たり・見なかったり・見なかったりの有様となっています。

今から1年前の大震災直後に発刊された所弓便（第6号）の掲載文にある

「この災害で得た、たった一つの良いこと『優しさ』を持ち続けたいものです。」

「弓を引くことが出来る幸せに感謝しつつ、これまで以上に一射一射真剣に大事に引いて行きたい、感射したいと思います。」

を読んだ当時の共感する気持ちを改めて思い起したいと考えています。

編集委員

飯島稔凱 小林壽子 甲斐久歳

小林康則 山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第9号

発行日 平成24年5月15日

発行者 所沢市弓道連盟

会長 新家透